

GRAND CYCLE TOKYO レインボーライド 2024 参加規約

【規約】

以下の規約を確認の上、お申し込みください。

<参加規約>

1 本イベント全般に関して

・レインボーライド（以下「本イベント」といいます）は、順位やタイムを競うレースではなく、ファンライドのイベントです。

参加者は、安全を最優先として、ファンライドを楽しむとともに、本イベントの円滑な運営にご協力ください。

・参加者は、本イベント主催者からのメール等によるお知らせや公式ホームページ、公式 SNS 等からの最新情報に留意し、その内容についての確認をお願い致します。

・参加者が規約等に違反している場合は、本イベント参加を認めない可能性がございます。

・参加者は、走行する道が自転車専用整備された道路ではなく、高速道路等であることを理解した上で、安全・マナーに配慮した行動を心掛け、本イベントに参加してください。

・参加者は必ずヘルメットを着用してください。なお、2023年4月1日からヘルメット着用が努力義務化されています。

・安全に走行するために、事前に東京都自転車安全学習アプリ「輪トレ（りんトレ）」で学習してください。アプリのテストに合格すると合格番号が発番されます。合格された方には、イベント当日にノベルティグッズを配布予定です。

・当選後、自らキャンセルや変更をした場合、参加費は返金されません。

また、過剰入金・重複入金や氏名、生年月日等の虚偽申告や不正出走(本人以外の出場)等により、出場が取り消された場合も、参加費は返金されません。

・健康に留意し、十分なトレーニングをして本イベントに臨んでください。

・本イベントには、「転倒のリスク」、「他のサイクリスト、自転車、自動車、歩行者、障害物と衝突するリスク」、「自転車等の整備不良、運転操作ミス」、「天候」、「自分自身や他者の不注意」等のリスクがあることを十分に理解した上で参加してください。

・本イベントへの参加により、参加者は、本イベントの映像、写真、記事、記録等において肖像等の個人情報がテレビ、新聞、雑誌、インターネット、パンフレット等に報道、掲載、利用されることについて承諾したものとみなします。また、それらを掲載し、使用する権利が主催者に属することについても承諾したものとみなします。

・参加者は、本イベントへの参加にあたり提出した応募書類、登録したエントリー情報が、全て真正なものであることを保証するものとします。

・参加者は、本イベント参加において負傷した場合、本イベント主催者の委託する医療関係者が適切であるとみなした緊急治療や搬送を行うことに対して同意するものとします。さらに、これによって生じる医療費その他の費用を参加者が負担する可能性があることを予めご了承ください。

・主催者側に故意又は重大な過失がある場合を除き、本イベントに参加することに起因する、あらゆる事故、傷害（死亡を含む）、損失、又は物的損害に関しては自己責任となります。

2 参加資格に関して

(1) 各コース完走目安

・各コースを下記時間内に完走できる脚力があり、健康で無理をせずに安全な走行ができる方に限ります。(エイドステーション滞在時間等を含む。)

<コース別 完走目安時間>

コース名	距離	完走目安時間
レインボーロング	35 km	3 時間 00 分以内
レインボーミドル	19 km	1 時間 40 分以内
レインボーショート	8 km	50 分以内

(2) 各コース参加条件 コース選択の目安

①各コースの参加条件目安を下表より確認し、健康で安全な走行が可能と自己判断できる方に限ります。なお、同程度のライドイベント出走経験があり、日常的に自転車に乗っているなどが目安となります。または、これらに該当しない場合は、電動アシスト付自転車による参加をご検討ください。

コース名	参加対象：一般（18歳以上）・小学校3年生～高校生
レインボーロング	*コース内に <u>勾配5%の坂道が1.5 kmある</u> 及び <u>勾配4%の坂道が1.3kmある</u>
レインボーミドル	*コース内に <u>勾配5%の坂道が1.5 kmある</u>
レインボーショート	

※参考「都内における5%前後の勾配がある坂道」

ご自身が参加されるコースの勾配に合わせて、事前に実走もしくはグーグルマップ等でご確認いただくことを推奨します。

(3) 未成年（18歳未満）参加者

未成年の参加には、保護者の同意が必要です。

(4) 小学生参加者

小学校3年生以上で健康で無理をせずに安全な走行ができることを条件とします。ただし、小学校3年生以上1名に対し、保護者（18歳以上の成人）1名の同伴を必要とします。

(5) 未就学児参加者

保護者・未就学児共に健康で無理をせずに安全な参加ができると、主催者が判断した場合のみ、特定の車両での未就学児1名の同乗が可能です。乗車時は、ヘルメット及びシートベルトを着用すること。

※特定の車両：幼児用座席取付自転車（電動アシスト付き）又はトレーラーによる乗車。

3 車両区分に関して

(1) 使用可能車両

- ① 法令等に従い、公道を走るために必要な装備及び機能等を有する法令等に従った自転車を使用してください。
- ② 法令又は本規約に定める自転車の車両区分、その他の規約にご注意ください。
- ③ 電動アシスト付き自転車向けのメカニックサービス（修理・充電等）は提供しません。故障又は充電切れし

た際には、アシスト機能無しで制限時間内に走行するか、収容車両で会場までお戻りいただきます。

④ 本イベント主催者が、自転車が法令又は本規約に違反すると判断した場合は出走を取り消す場合がございます。

⑤ タイヤの空気圧は種別に応じた適正な空気圧でご参加ください。適正な空気圧がわからない場合、店舗等でご確認いただき、本番前日に適正な空気圧にさせていただき事を推奨します。適正でない空気圧が原因でパンクする事がありますのでご注意ください。

⑥ フロントライト、テールライト、電動アシスト等の充電・電池を要する機能は必ずご確認ください、必要に応じて充電、電池交換をしてご参加ください。

<使用可能車両>

コース	使用可能車両						
	ロードバイク (多段ギア付)	スポーツサイクル (多段ギア付or 電動アシスト付)	軽快車(いわゆるママチャリ) (多段ギア付or 電動アシスト付) * 幼児用座席取付自転車 * トレーラー	ミニベロ 16~24インチ (多段ギア付or 電動アシスト付)	ビーチクルーザー・ ファットバイク (多段ギア付or 電動アシスト付)	レンタサイクル (多段ギア・電動アシスト付)	タンDEM自転車 (多段ギア付or 電動アシスト付)
レインボーロング	○	○	○	○	○	○	○
レインボーミドル							
レインボーショート							

<車両定義>

車両区分	主な定義	該当車両	該当ハンドル形状
ロードバイク	主にドロップハンドル仕様でタイヤ径が25インチ以上の車両 多段ギア付き	・ロードバイク ・グラベルロード ・シクロクロス	・ドロップハンドル ※フラットハンドルのロードバイクは「スポーツサイクル」とする
スポーツサイクル	クロスバイク、MTBなどフラット形状ハンドルのスポーツ車	・トレイルバイク ・クロスバイク ・MTB	・フラットハンドル(バーエンド可) ・ライザーバー
軽快車 (いわゆるママチャリ)	フレームがスポーツ車でなく軽快車仕様	・軽快車 (いわゆるママチャリ)	・一般的な軽快車(いわゆるママチャリ)仕様のハンドル ※改造不可
ミニベロ	タイヤ径が16~24インチの車両	・ミニベロ	・フラットハンドル ・ドロップハンドル
タンDEM自転車	2人乗り用としての構造を有し、かつ、ペダル装置が縦列に設けられた自転車	・タンDEM自転車	・フラットハンドル ・ドロップハンドル
特殊車両	上記以外の車両	・ファットバイク (ビーチクルーザー)など	・各車両による

※多段ギアなしかつ電動アシストなし自転車、ミニベロ16インチ未満の自転車では参加できません。

※運営側で判別が行いやすい「車両形状」を主な判断基準とさせていただきます。

※年々様々な種類の自転車が増えています。自身の自転車が不適合か判断できない場合は、事前にレインボーライド事務局までご相談ください。

※上記「レンタサイクル(電動アシスト付き)」は主催者が用意したレンタサイクル(ヘルメット付)を指します。

(2) 使用不可車両

一般的に公道での走行が認められている車両であっても、安全管理のため、以下車両の参加は原則受け付けておりません。ご理解ください。

<使用不可車両>

- ・法令違反の自転車

- ・国内で定められていない機能を備えた電動アシスト付き自転車(時速 25 km以上のアシスト力が加わる等)
- ・ペダルを漕がずに進む電動アシスト付き車両 (電動モペット)
- ・リカンベント
- ・ハンドサイクル
- ・トライシクル
- ・ピストバイク (固定ギア車)
- ・補助輪付き自転車
- ・ミニベロタイヤ径 16 インチ未満
- ・各コースの使用可能車両に該当しない車両
- ・トライアスロンバイク (通称: TT バイク)

<使用不可ハンドル>

- ・DHハンドル
- ・クリップオン
- ・スピナッチ
- ・エアロバー
- ・トライアスロンバー
- ・上記のようなドロップハンドルにアタッチメント方式で取り付ける補助バー全般。その他、素早いブレーキ操作の妨げになり、急勾配の路上での操作に不向きなもの。
- ・アタッチメント方式で取り付ける仕様の補助バー全般を含み、走行上、危険と判断されるハンドルは禁止します。
- ・本イベント主催者がレギュレーション違反と判断した場合は出走を取り消す場合がございます。

(3) 装備品・付属品

- ① ヘルメット (顎の下で固定できる紐付き) の着用及び前照灯・尾灯 (又は反射板) の装着を必須とします (軽快車やレンタサイクルに乗る場合も必須)。
- ② 安全走行の妨げとなる不必要な装備・付属品の装着は禁止します。

<装備品・付属品 基準>

基準	装備品・付属品
必須	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルメット (革製のカスク不可。※ヘルメットブランド「Kask」のヘルメットは使用可能。) ※ヘルメットは必ず顎ベルトがあり、頭部を固定できる物で参加してください。 ・前照灯 ・尾灯 (テールライト) 又は反射板
推奨	<ul style="list-style-type: none"> ・グローブ (転倒時に手のひらを保護するため自転車用が望ましい) ・携帯ポンプ (空気入れ) ・予備チューブ

使用可能	<ul style="list-style-type: none"> ・ボトルケージ（落下防止のためカン、ビン、ペットボトル等はいれしないでください） ・サイクルコンピューター ・サドルバッグ ・泥よけ ・カメラ（自転車本体又はヘルメット等に固定されており、安全対策及び落下防止措置がとられているものに限ります。
使用不可	<ul style="list-style-type: none"> ・安全走行の妨げとなる不必要な装備・付属品の装着は禁止 ・カバーのない自転車かごに荷物を入れた状態での走行は禁止 （主催者の用意するレンタサイクルにはカバーは付属しておりません。）

4 自転車の管理、検車、服装、携行品に関して

(1) 自転車の管理・盗難・破損

- ① 自転車の盗難、破損等に関して、主催者はその責任を負いません。受付会場内にラックを準備予定ですが、自己責任の下ご利用ください。

(2) 検車

- ① 法令、車両区分等に適合するよう、使用自転車に関して自己の責任において十分に整備してください。
- ② 自転車専門店等において、事前点検・整備を行っておくことを推奨します。
- ③ スタート前に、スタッフの目視による車両と装備品類の確認を実施します。
- ④ 法令や車両区分等に違反があると本イベント主催者が判断した車両は出走不可となる場合があります。なお、出走不可となった場合も返金はいたしません。

(3) 服装

- ① 運動に適した服装で参加してください。なお、橋の上などは気温が低いことが予想されるので防寒対策を十分行ってください。
- ② 走行の際に危険と思われる衣服の着用や顔全体を覆うことはしないでください。
- ③ 他の参加者や観戦者を不快にさせるなど、スポーツイベントに相応しくない服装は避けてください。
- ④ 政治的、宗教上の主張や大会主催者が認めていない特定の個人、地域・団体をPRするものや広告宣伝等を目的とした服装で参加しないでください。
- ⑤ スタートエリアには更衣室はありません（VIP 枠は除く）ので、出走する服装でご来場ください。周辺施設等での更衣は行わないでください。
- ⑥ 走行中は必ずヘルメット（顎の下で固定できる紐付き）を着用し、転倒時の怪我防止のため、グローブの着用を推奨します。また、ヘルメットにカメラを装着する場合、転倒時に深刻な怪我につながる恐れがあることをご認識ください。
- ⑦安全管理上、以下の服装での参加は不可とします。また、携行品類の落下がないよう十分注意してください。

<参加不可とする服装例>

- ・前後左右を確認する視野を十分に確保できない、また、周囲の音声が十分に聞こえないと判断される被り物・着ぐるみ
- ・ロングスカートや袴、着座時にサドル下にまで至るウィッグ等、ホイールやギアに巻き込む恐れのある服装・装飾物
- ・下駄や草鞋、ハイヒール、ビーチサンダル、裸足等、安全運転への支障やケガの恐れがあるもの

(4) 携行品

- ① 自転車前ゼッケンは、必ず自転車のハンドル部分または前かご等に固定する形で前から見えるように装着してください。
- ② 後ゼッケンは、必ず背中側に周囲から見えるように装着してください。リュック等を背負う場合はウェアでなくリュックに装着し、必ず視認できるようにしてください。
- ③ パンク修理等は参加者自身で行うものとし、パンク等のトラブルに対処できる工具、ポンプ、予備チューブを準備することを推奨します。
- ④ 防寒降雨時対策として、ウェア類等も十分に準備してください。
- ⑤ 緊急時に備えて健康保険証、携帯電話を携行してください。
- ⑥ ペット、その他安全な走行を阻害するものを同乗又は搭載して走行は禁止します。

5 走行管理に関して

(1) 走行ルール

- ① 参加者は、出走するコースのルート経路、分岐点、関門、制限時間、走行上の注意事項等を事前に十分把握した上、本イベントに参加してください。
- ② 参加者は、警察官、警備員、誘導員、スタッフ等の指示、誘導に必ず従ってください。指示に従わない場合は、安全等を優先する為に走行中止を命じることがあります。
- ③ ゼッケンナンバーに応じて順々にスタートする「ウェーブスタート方式」となります。
- ④ 参加者は、法令、規約等を遵守して安全に走行するとともに、接触・トラブルがないよう十分注意してください。
- ⑤ 参加者は、事故を起こした時や目撃した時は、最寄りのスタッフ等に必ず連絡してください。

(2) 高速道路本線及び一般道における共通ルール

- ① 原則、逆走は禁止します。
- ② イヤホン等を装着しての走行を禁止します。(補聴器等聴覚機能を補完するための器具を除きます。)
- ③ 撮影を許可されている区域を除き、立ち止まったコース上の撮影は禁止します。なお、自転車に固定されたカメラ等での撮影は可能です。(ただし、安全には十分注意ください。)
- ④ 片手運転を禁止します。

(3) 高速道路本線及び東京ゲートブリッジの走行ルール

【重要】特別な許可を得て、高速道路本線等が走行可能となっております。違反行為が発生した場合、本イベント中断、中止の可能性がございますので必ず遵守してください。

- ① 高速道路本線等は、自転車の走行を前提とした構造ではありません。常に安全を最優先する走行を心掛けてください。
- ② 高速道路本線等は、転落防止用の外壁やガードレール等の高さが一般道と比較して、低く設置されています。柵等が設置されている路側帯を走行せず、極力中央寄りを走行してください。
- ③ 走行レーンの中央寄りを原則二列走行してください。
- ④ スタッフの指示や事故等のやむを得ない場合を除き、高速道路本線等における停車を禁止します。
- ⑤ 緊急事態が発生した際は交通規制中においても緊急車両等が高速道路本線等を走行致します。その際はスタッフ等の指示に従って走行を一旦停止してください。
- ⑥ 安全管理の観点から気象状況による主催者の判断によって高速上等の走行を中止する場合があります。

⑦ 安全管理の観点から主催者側で高速道路上等を走行できないと判断した参加者には、走行中止勧告を行う場合があります。その際は、主催者の指示に従ってください。

⑧ 安全管理のため走行管理ライダーがウェーブの前後に配置して先導致します。走行中の走行管理ライダーの追い越しを禁止します。やむを得ず、追い越す場合はサインや声掛けなどを必ず実施してください。

(4) 自転車の故障

① 自転車が故障した場合は、最寄りのスタッフに連絡するとともに高速道路本線では非常駐車帯、一般道では歩道等の安全な場所に自転車を移動させてから修理を行ってください。

② 参加者自身で修理ができない場合は、最寄りのスタッフにお声掛けください。メカニック車両が順に対応しますが、あくまでも応急処置程度ですので全てを対応できるものではありません。

③ 故障の状況や復帰の時間等の状況により、リタイヤ扱いとなる場合があります。

6 関門及びリタイヤに関して

(1) 関門

① 交通規制の関係上、走行ルート上に関門を設置しますので、関門閉鎖時刻までに通過をしてください。関門閉鎖時刻につきましては改めて提示をさせていただきます。

② 制限時間内に関門を通過できなかった場合は、次の関門で収容車に収容します。フィニッシュ会場まで移送するので、スタッフの指示に従ってください。

③ 関門閉鎖時刻に関わらず、制限時間内での完走が困難と思われる場合は、リタイヤ扱いとして収容車に収容する可能性があるので、スタッフの指示に従ってください。

(2) リタイヤ

① リタイヤする場合は、近くのスタッフにお声掛けください。

② リタイヤした参加者は、収容車等にて収容した後、フィニッシュ地点に移送します。

7 受付に関して

(1) 受付

① 必ず本イベント当日（12月1日）に受付をしてください。（前日受付はいたしません。）
受付方法は別途、ご案内致します。

② 受付時間内に手続きができなかった方は、本イベントへの参加を認めません。

8 レンタサイクルに関して

・貸し出すレンタサイクルは電動アシスト付き自転車で、身長145cm以上の方が対象となります。自転車とヘルメットをセットで貸し出します。

・自転車(ライト・カギ等の付属品を含む)、ヘルメットの紛失・破損・盗難等の場合は実費を請求させていただきます。

・主催者の故意又は重大な過失によらない場合、事故や盗難等について一切責任は負いません。

・道路交通法を守り、安全には十分注意を払ってご利用ください。

・乗車前には必ずタイヤ・ブレーキ・ギアチェンジ等の確認を行ってください。

・万が一事故・故障等のトラブルが発生しましたら、最寄りのスタッフにお声掛けください。

9 免責に関して

(1) 本イベントの中止・中断

- ① 地震・風水害・強風等の自然災害や気象状況、事件・事故・感染症などで危険が予測される場合には、主催者の判断により、コース変更又は本イベント自体を中止・中断する場合がございます。
- ② 自然災害や気象状況の悪化、その他安全に走行できない場合等主催者の責めに帰することができない事由により本イベントを中止・中断した場合は、原則として参加費を返金しません。
- ③ 主催者に故意又は重大な過失がある場合を除き、参加者が本イベントに参加することに起因する、あらゆる事故、傷害（死亡を含む）、損失、又は物的損害に関しては自己責任となります。
- ④ 本規約の一部が無効となる場合でも、他の部分は引き続き有効に存続するものとします。

(2) 本イベント開催中の補償

- ① 主催者に故意又は重大な過失がある場合を除き、参加者への補償は主催者が加入する傷害保険等の補償内容の範囲内とします。
- ② 自転車本体、装備品、携行品等の破損又は盗難等については、主催者加入保険の補償範囲外となります。不安な場合は参加者自身で必要な保険に加入してください。尚、2020年4月1日から東京都内を自転車で走る場合、自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入している必要があります。
- ③ 本イベント開催中の怪我等については、救護所で応急処置を行います。病院等での治療が必要となる場合に備えて、健康保険証を持参してください。

【保険に関して】

<主催者加入の保険適応範囲>

本イベント参加中による怪我等に関しては、主催者加入による傷害保険の範囲内で補償されます。ただし、以下は主催者加入の保険適用外となります。

- ・主催者側の責によらない第三者（参加者・関係者・一般車両・歩行者・観覧者等）との接触による事故等
- ・スタート～ゴール制限時間以外の会場外での事故（会場への移動等）
- ・自転車（フレーム・各種パーツ）や付属品、所有物の破損・紛失・盗難等
- ・携行品の故障等
- ・その他、主催者が認めないもの

<注意事項>

- ・補償内容に不安がある方は、各自で保険に加入してください。
- ・主催者の責によらない自身の過失による相手方の怪我・自転車や付属品の破損については、当事者間で処理をしてください。危害を被った場合も同様に当事者間で処理をしてください。

<補償内容>

災害死亡補償金：1,000万円

後遺障害補償金：最高1,000万円

療養補償金：入院日額1日あたり7,500円（180日以内）

通院日額1日あたり5,000円（90日以内）

※保険期間：本イベント開始から終了まで